

**令和7年度
児童生徒の問題行動・不登校等
生徒指導上の諸課題に関する調査**

**入力操作・提出マニュアル
【学校用】**

※必ずマニュアルに従って、作業を行ってください

1. 調査票の入力を始める前に

(1) Excelマクロを使用できるようにする。

- ・Excelマクロを有効にする
[オプション]>[セキュリティーセンター]あるいは[トラストセンター]
>[マクロの設定]
※Excelのバージョン等によって設定方法は異なります。

(2) 自校の「学校コード」を準備する。

英数13文字の学校コードの入力が必要となります。
学校コードは、文部科学省において全国の学校に設定したもので、下記アドレスにて公開しています。
https://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/mext_01087.html

(3) 作業ファイルの確認をする。

この作業に必要なとなるファイルは以下の2つです。

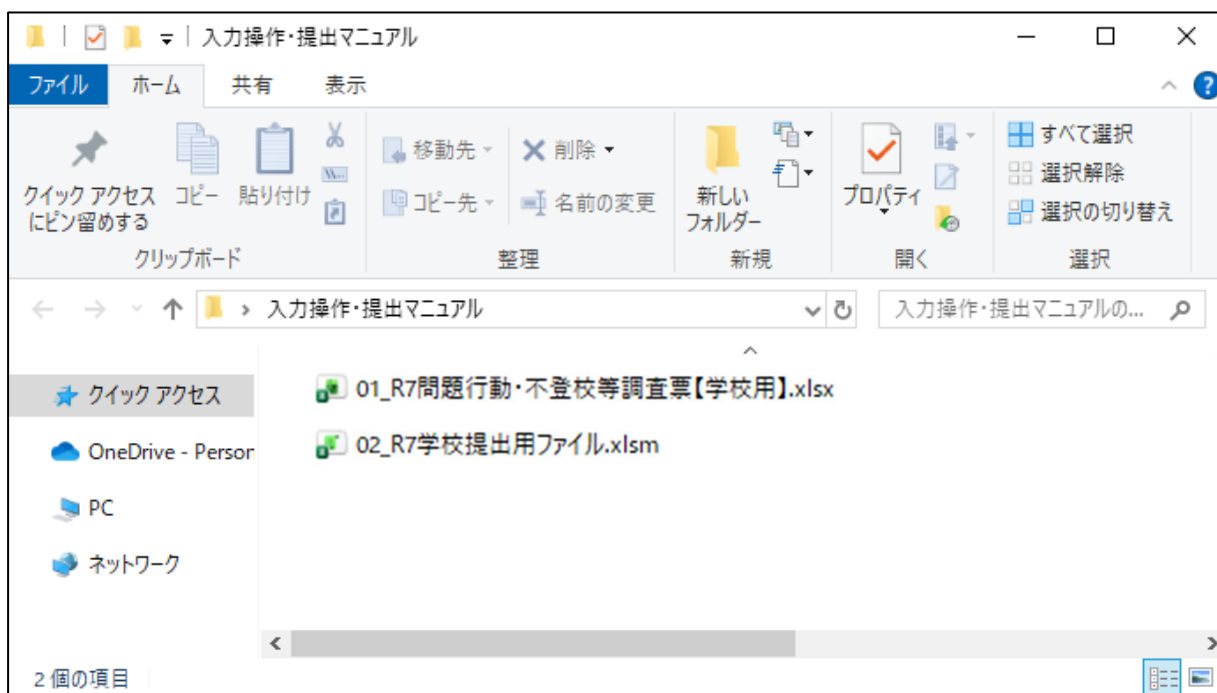
- ・01_R7問題行動・不登校等調査票【学校用】.xlsx
- ・02_R7学校提出用ファイル.xlsx

2つのファイルがありますが、回答を直接入力するのは、01のファイルです。

注) 「02_R7学校提出用ファイル」のファイル拡張子が「.xlsx」であることを確認してください。これ以外の拡張子の場合は、途中から作業ができなくなります。

(4) 2つのファイルを1つのフォルダーに保存する。

上記2つのファイルを、1つのフォルダーに格納してから作業を開始してください。なお、格納するフォルダーの名前や保存場所の指定は特にありません。対象となる学校が2つ以上ある場合、学校分のフォルダーを用意してください。



2. 調査票の入力をする

(1) 「01_R7問題行動・不登校等調査票【学校用】.xlsx」を開き、
[基本情報] (1番左のシート) の入力をする。

- ・ [基本情報] シートの入力内容によって、次ページ以降の回答すべき欄が黄色に表示されます。必ず「基本情報」を最初に入力をしてください。
- ・ 「学校コード」の入力によって学校種や学校名を自動表示しますので、下図①～④の順に入力してください。
- ・ 公立学校の場合、下図②の枠で「都道府県立学校」・「市区町村立学校」のいずれかを選択してください。
- ・ 高等学校及び中等教育学校は、「課程」、「学年制・単位制」の欄も必ず記入してください。
- ・ ①③④の黄色のセルは必ず全て入力し、右上の赤字の「エラー」表示が消えてから次頁に進んでください。

Excel spreadsheet showing the '基本情報' (Basic Information) sheet. The spreadsheet is titled '01_R6問題行動・不登校等調査票【学校用】.xlsx'. The sheet contains various input fields and instructions. The '学校コード' (School Code) field is highlighted in yellow and has an 'エラー' (Error) message. The '設置者種別' (Institution Type) field is highlighted in yellow and has a dropdown menu. The '記入者名' (Recorder Name) field is highlighted in yellow and has a dropdown menu. The spreadsheet also contains various instructions and notes, such as '※はじめに、学校の場... 教育委員会の場合は「教育委員会コード」を記入してください。' and '※この調査票は統計以外の目的には使用いたしません。'.

(2) [学校1頁] から順番に、回答を入力をする。

- 黄色のセルに、数値を入力する。
該当がない場合でも、0を入力することを推奨します。
- 灰色のセルは入力しない。
灰色のセルは学校種が異なるなどの理由により、回答すべきでない項目です。
- 回答の記入にあたり、他のファイルや他のセルからコピー&ペーストしたり、セルごとドラッグ&ドロップする操作は絶対に行わない。
回答欄には、入力ミスを防止するため入力規則やエラー表示設定、提出いただいた後に集計するための設定がされています。他のセルから貼り付けるなどの操作をすると、これらの設定が解除されて集計が正しく行われなくなるため、新しい調査票ファイルで入力をやり直す必要が生じることがあります。
- 必ず、前から順に入力をする。
複数のページにわたって、数値の矛盾を確認しエラーを表示している場合があります。学校1頁から順番に注意事項を確認し、回答を入力をすることで、入力エラーを防ぐことにつながります。
- 「記入に当たって」や「(注〇)」をよく読む。
入力エラーが表示される場合の多くは、注意書きに沿った入力となっていないことが要因です。注意書きの内容がよくわからない場合は、市町村教育委員会等に確認してください。
- エラーを訂正する。
下記①のように、赤字の「エラー」が表示された場合は、回答内容に矛盾や不備が生じています。説明文や前述で示した注意書きを読み、必ず訂正してください。

区分	(1) 解消しているもの (日常的に継続継続中)	(2) 解消に向けて数値中		(3) その他 (※(注3)参照)	(4) 計
		いじめを認知してから 3か月以上経過 しているもの	いじめを認知してから 3か月 経過していないもの		
小学校					0
中学校					0
高等学校					0
特別支援学校					0

エラー 記入された数値の合計が、いじめの認知件数と一致していません

赤い枠に「エラー」が表示されたら説明文や注意書きをよく読んで訂正してください。
この場合「記入された数値の合計が、いじめの認知件数と一致していません」とあるので、前頁の認知件数と一致するように入力すると、「エラー」の表示が消えます。

(3) すべての頁で回答の記入が終了したら、[学校確認シート]でエラーや入力誤りがないか確認する。

- 左側の表①で、全頁が「エラーなし」となっているかを確認してください。下の図のように、一つでもエラーが表示されている場合はエラーを解消してください。
- 回答内容の確認のため、②に該当する学校種の欄に児童生徒数を入力してください。
- 全てのチェック項目をよく読み、確認が出来たら③の黄色のセルに「OK」を入力してください。

[学校確認シート]																					
全頁で回答を記入した上で、下表でエラーが出ていないかを確認してください。	左のエラーチェックは入力された数値間の不整合を確認するものですが、数値の不整合以外に、調査項目の定義を誤って解釈していたなどの事例も少なくありません。このため、下記の点は特に留意いただき、確認できたら右の黄色のセルにOKを入力（プルダウンから選択）してください。全項目にOKが入力されていないと、次の作業に進むことはできません。																				
基本情報 エラーなし	<p>* 左のエラーチェックで、全頁エラーがないことを確認しましたか？ → <input type="checkbox"/></p> <p>* 回答内容の確認のため、令和6年5月1日時点の在籍児童生徒数を記入してください。義務教育学校は小学校・中学校の欄に、中等教育学校は中学校・高等学校の欄に、前期課程・後期課程の人数をそれぞれ計上してください。 (ここで記入いただく児童生徒数は、下記の確認作業用ですので概数でも問題ありません。調査結果の集計の際は、学校基本調査で公表されている児童生徒数を母数として使用します。)</p> <table border="1"> <tr> <td>小学校</td> <td>中学校</td> <td>高校 全日制</td> <td>高校 定時制</td> <td>高校 通信制</td> <td>特別支 援学校</td> <td>計</td> </tr> <tr> <td>500</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>500(人)</td> </tr> </table> <p>②</p> <p><暴力行為・いじめ関係></p> <p>* 現在入力されている暴力行為の加害児童生徒数、いじめの認知件数が、上記の在籍児童生徒数に占める割合は以下のとおりです。極端に割合が高い場合等は回答誤りの可能性があります。人数・件数に誤りはありませんか？</p> <table border="1"> <tr> <td>◆暴力行為の加害児童生徒</td> <td>0.0%</td> <td>(特別支援学校は0.0%と表示されます)</td> </tr> <tr> <td>◆いじめの認知件数</td> <td>0.0%</td> <td></td> </tr> </table> <p>* 学校3頁・学校8頁の「訓告」は、「校長が学校教育法施行規則第28条に定める懲戒処分としての「訓告」であることを明示して行ったもの」です。事実上の懲戒として行われる単なる「叱責」等はこれに含みません。「訓告」に件数を計上している場合、解釈に誤りはないですか？</p> <p>◆「訓告」に入力されている件数 学校3頁: <input type="text" value="0"/> 学校8頁: <input type="text" value="0"/></p> <p>* 学校7頁「6.いじめられた児童生徒の相談の状況」「7.いじめの態様」、学校8頁・学校9頁「8.いじめの対応状況」は、複数選択可の項目です。当てはまるもの全てに件数を計上していますか？</p> <p>* 学校12頁・学校13頁の「いじめ防止対策推進法第28条第1項に規定する「重大事態）」は、いじめ防止対策推進法に基づき、令和6年度間に地方公共団体の長（国立の場合は文部科学大臣）に発生を報告を行った重大事態について記入します。 いじめ防止対策推進法に基づく発生を報告を行っていない事案や、令和5年度以前・令和7年度以後に発生を報告をした事案は該当しません。重大事態の件数に誤りはないですか？</p> <p>◆「重大事態」の発生件数として入力されている件数 <input type="text" value="0"/>件</p> <p>* 学校13頁の【5】「地方公共団体の長等において調査の結果について調査（再調査）を行った件数」は、重大事態としての発生時期に関わらず、令和6年度に再調査したものを計上します。(学校12頁の重大事態発生件数が0件の場合でも、学校13頁の【5】の件数の有無を確認することが必要です。)記入に誤りはないですか？</p>	小学校	中学校	高校 全日制	高校 定時制	高校 通信制	特別支 援学校	計	500						500(人)	◆暴力行為の加害児童生徒	0.0%	(特別支援学校は0.0%と表示されます)	◆いじめの認知件数	0.0%	
小学校		中学校	高校 全日制	高校 定時制	高校 通信制	特別支 援学校	計														
500							500(人)														
◆暴力行為の加害児童生徒		0.0%	(特別支援学校は0.0%と表示されます)																		
◆いじめの認知件数		0.0%																			
学校2頁 エラーなし																					
学校3頁 エラーなし																					
学校4頁 エラーあり																					
学校5頁 エラーなし																					
学校6頁 エラーなし																					
学校7頁 エラーなし																					
学校8頁 エラーなし																					
学校9頁 エラーなし																					
学校10頁 エラーなし																					
学校11頁 エラーなし																					
学校12頁 エラーなし																					
学校13頁 エラーなし																					
学校14頁 エラーなし																					
学校15頁 エラーなし																					
学校16頁 エラーなし																					
学校17頁 エラーなし																					
学校18頁 エラーなし																					
学校19頁 エラーなし																					
学校20頁 エラーなし																					
学校21頁 エラーなし																					
学校22頁 エラーなし																					
学校23頁 エラーなし																					
学校24頁 エラーなし																					
学校25頁 エラーなし																					
エラーあり	③																				
上記の頁にエラーがあります。修正してください。																					

- 末尾に赤字で「確認が完了していない項目があります。(以下略)」の表示がある場合、次の工程でマクロを実行することができません。
- 下図④のように、青字で「全ての項目の確認が完了しました。(以下略)」の表示が出たら、「01_R7問題行動・不登校等調査票【学校用】.xlsx」の入力は終了です。
- 必ずファイルを上書き保存し、閉じてください。

64	<p>* 学校21頁で入力されている在籍生徒数と中途退学者数から、中途退学率は以下のとおりとなります。極端に割合が高い場合等は、在籍生徒数と中途退学者数のいずれかに回答誤り又は記入漏れの可能性があります。計上している人数に誤りはありませんか？</p> <p>◆中途退学率（在籍者数に対する中途退学者数の割合） <input type="text" value="-"/></p> <p>* 学校21頁で、「経済的事由」による中途退学に以下の人数が入力されています。この人数は「保護者の事情等により、家計が困難になり退学した者」の定義によって計上されていますか？（過去に、一部の学校において、授業料の納付がなかった生徒を一律に計上していた誤りがありました。）</p> <p>◆「経済的事由」による中途退学の人数 <input type="text" value="0"/>人</p>	OK
65		OK
66		
67		
68		
69		
70		
71		
75		
76	全ての項目の確認が完了しました。「04_R7委員会提出用ファイル」を開き、提出用ファイルを作成してください。	

④

< > ... 学校18頁 学校19頁 学校20頁 学校21頁 学校22頁 学校23頁 学校24頁 学校25頁 学校確認シート

(4) 「02_R7学校提出用ファイル.xlsx」のマクロを実行し、
『学校コード+学校名』ファイルを作成する。

- 2つのファイルを1つのフォルダーに保存していることを確認する。
本マニュアルの2ページに記載しているとおり、回答を入力した「01_R7問題行動・不登校等調査票【学校用】.xlsx」と、「02_R7学校提出用ファイル.xlsx」を、一つのフォルダーに保存していることを確認してください。
- 「02_R7学校提出用ファイル.xlsx」を開き、マクロを実行する。
表示されている◆の注意事項を確認してから、①の「提出用ファイル作成」ボタンをクリックしてください。
ボタンをクリックした後は、マクロの実行が終わるまでお待ちください。

The screenshot shows an Excel spreadsheet with the following content:

- Row 1: A warning message: **このファイルは、回答データが保存されておらず、まだ提出できません。**
- Row 2: A sub-message: **下記の点を確認し、「提出用ファイル作成ボタン」を押してください。**
- Row 3: A sub-message: **(ボタンを押した後は「完了しました。「1列シート」と「提出ファイル作成シート」が更新されていることを確認してください。)**のメッセージが出るまでお待ちください
- Row 4: A diamond-shaped warning icon followed by the text: **このファイルと同じフォルダに、回答を入力した「01_R7問題行動・不登校等調査票【学校用】」を保存していますか。**
- Row 5: A diamond-shaped warning icon followed by the text: **「01_R7問題行動・不登校等調査票【学校用】」は、ファイル名の変更を行っていないですか。(ファイル名が異なると、マクロが実行できません。)**
- Row 6: A diamond-shaped warning icon followed by the text: **「01_R7問題行動・不登校等調査票【学校用】」の「学校確認シート」において、青色の「全ての項目の確認が完了しました。」のメッセージが表示されていますか。**
- Row 8: A button labeled **提出用ファイル作成**.
- Row 9: A blue arrow pointing left towards the button.
- Row 10: A blue circle containing the number **1**.
- Row 11: A blue box containing the text **ボタンをクリック**.

○正常に作業が完了した場合

「完了しました (以下略)」のメッセージが表示されます。

下の図のように「回答データが保存されており、提出できます」のメッセージが表示されていることを確認し、ファイルを閉じます。(閉じる際の上書き保存は不要です)

The screenshot shows an Excel spreadsheet with the following content:

- Row 1: A button labeled **提出用ファイル作成**.
- Row 2: A blue message box containing the text: **このファイルは、回答データが保存されており、提出できます。**
- Row 3: A blue message box containing the text: **このファイルと、「01_R7問題行動・不登校等調査票【学校用】」の2つのファイルを提出してください。**
- Row 4: A tab bar showing **1列シート** and **提出ファイル作成シート**.

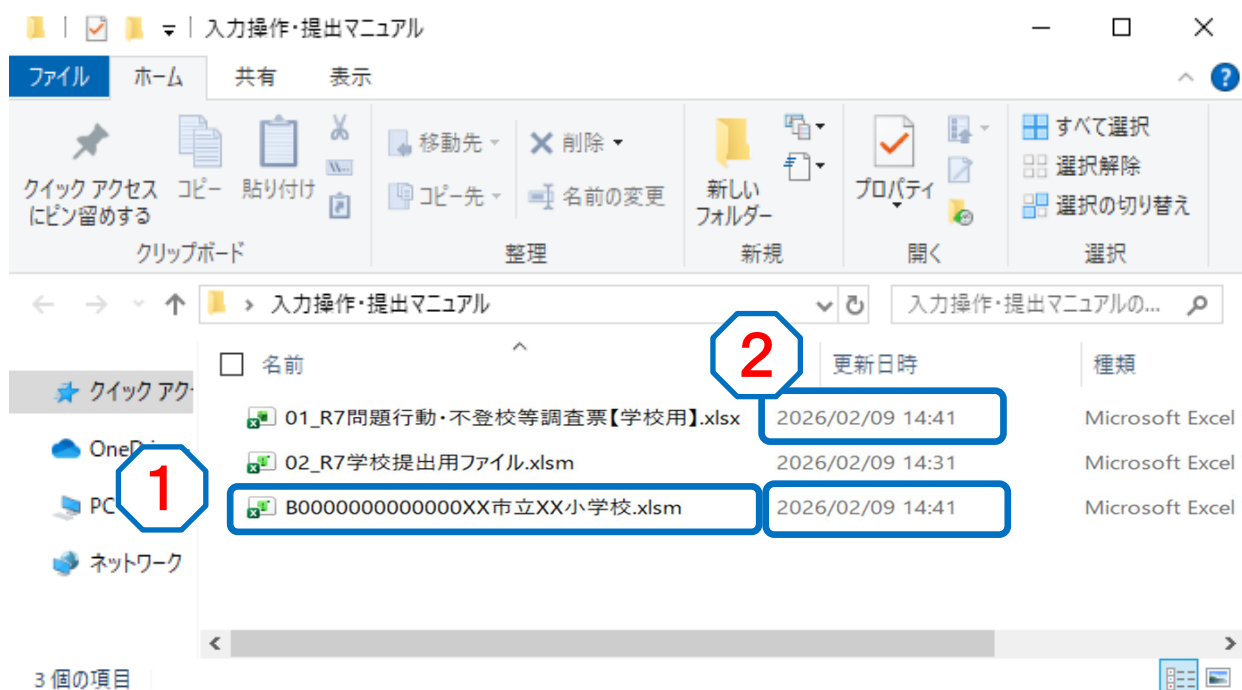
○何らかのエラーが表示された場合、以下を改めてご確認ください

- 「01_R7問題行動・不登校等調査票【学校用】」は閉じていますか。
- 「01_R7問題行動・不登校等調査票【学校用】」と、「02_R7学校提出用ファイル」を、一つのフォルダーに保存していますか。
- 「01_R7問題行動・不登校等調査票【学校用】」はファイル名を変更していませんか。
- 「01_R7問題行動・不登校等調査票【学校用】」の学校確認シートにおいて、全てのチェック事項に「OK」を入力しましたか。

(5) 『学校コード+学校名』ファイルが、新しいファイルとして保存されているか確認する。

- 「01_R7問題行動・不登校等調査票【学校用】」と「02_R7学校提出用ファイル」の2つのファイルが入っていたフォルダーに、下図 ① のように新たに『学校コード+学校名』ファイルが作成されていることを確認してください。
- 「01_R7問題行動・不登校等調査票【学校用】」は、前ページのマクロの実行の中で、内容を変更せずに上書き保存しています。
このため、マクロの実行後にいずれかのファイルを手動で上書き保存していなければ、下図 ② のように「01_R7問題行動・不登校等調査票【学校用】」と『学校コード+学校名』ファイルの更新日時が同時になります。

マクロ実行後、時間が経ってから手動で上書き保存すると、ファイルの更新日時が大きく離れ、「01_R7問題行動・不登校等調査票【学校用】」と『学校コード+学校名』ファイルのデータが一致しているか、ファイルの提出を受けた機関における確認が困難になります。



以上で回答の入力と提出用ファイルの作成は終了です。
お疲れさまでした。

「01_R7問題行動・不登校等調査票【学校用】」
『学校コード+学校名』ファイル
の2つのファイルを、提出してください。

※ 「02_R7学校提出用ファイル」は提出不要です。